

2025年11月7日

## 2025年度 上期業績 + 中期経営計画 説明会 Q&A (1/2)

No.1	Q.	営業利益について、通期の業績予想から上期実績を差し引くと、下期予想は赤字の計画となっている。金価格の高騰がその要因の一つのことだが、どのように関係しているのか。
	A.	車載向け LSI を中心に金を使用している製品が多い。期初の業績予想では金 1 グラム 13,000 円を前提に置いていたが、足元は 1 グラム 20,000 円の水準に達しており、利益水準を圧迫している。影響としては、上期よりも下期の方が大きくなる見込み。他社と比較して金の使用量が多い傾向にあるので、別素材に置き換える、価格転嫁する、といった対策を進めている。
No.2	Q.	金を別素材に置き換えるとのことだが、金高騰の影響は来年で解消されるのか。
	A.	別素材に置き換えた代替品のサンプルを順次供給しており、お客様から評価・承認を受けている状況。金を用いる従来品から変更されない場合は、値上げを実施することで影響を極小化させていく。
No.3	Q.	下期売上が上期比較で約 280 億円減少の見立てだが、その背景は。
	A.	民生機器市場に含まれるアミューズメント向けの売上が季節要因で 7~9 月にピークを迎えるため減少する見通し。また上期に中国で好調だったエアコンなど白物家電向けについても、補助金を背景とした需要先取りを受けて下期が弱くなっている。自動車市場も回復に足踏みがみられる。
No.4	Q.	中間連結キャッシュ・フロー計算書にある「有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入」の 950 億円の内容は。
	A.	東芝に関係する優先株式 2,000 億円うちの 950 億円が償還されたことによる収入。なお、東芝との協業に関する交渉は中断しておらず、継続中。
No.5	Q.	説明会資料 P19「営業利益 1,000 億円達成への道筋」に記載されている施策について、それぞれのタイミングで利益改善額が現れるのか。
	A.	SiC 事業の収益性改善及び前期から継続して進めている生産拠点再編の効果は、1 拠点ではなく複数の拠点で統廃合を考えているため、それぞれのタイミングにしたがって現れるが効果は中計期間の後半になる。製造コストダウン・調達コスト適正化、価格適正化・業務効率改善は日々の取り組みをブラッシュアップさせていくため、毎年効果額が現れる。売上成長は外部要因で左右されるため保守的に織り込んでいる。
No.6	Q.	SiC の市況についてアップデートは。
	A.	主機インバータ向けの売上で、YoY+50%成長を想定していたが、その通りに進捗。説明会資料 P26「主機インバータ向けビジネスの状況」にある通り、FY28 の受注獲得インバータ台数が FY25 比で約 3 倍になる見通しで、半年前より案件の確度が上がってきた。市場における BEV 台数の成長率も 2024 年は年間 +8~9%だったのが、2025 年は +35%超の伸びとなり改善傾向。第 5 世代デバイスの最終承認が進んでおり、また基板の品質もこの 1 年で大きく改善、8 インチの品質は 6 インチ以上。
No.7	Q.	SiC の価格動向は。
	A.	基板の価格下落は生じているが想定内。ただしデバイスについても中国勢が価格攻勢をかけ始めている。競合の動きも注視しつつ、それ以上のコストダウンを進めていく。
No.8	Q.	SiC の今期売上についての最新の見立ては。
	A.	期初計画では年間 400 億円超だったが、上振れる見通し。場合によっては 400 億円台後半もありうる。

2025年11月10日

## 2025年度 上期業績 + 中期経営計画 説明会 Q&A (2/2)

No.9	Q.	説明会資料 P27「SiC 事業の黒字化に向けた取り組み」に記載されている施策について、それぞれのタイミングで実現できるか。
	A.	基板事業改善は、歩留まり改善がメインであり一定のペースで効果額が現れる。デバイス改善は、デバイスの世代更新（第4世代→第5世代）による歩留まり改善を見込んでおり、第5世代が売上に寄与するタイミングで効果が現れる。第5世代のサンプルはすでに出荷を始めており、来年より量産開始を予定している。売上増加については、全社売上と同様で保守的に見ているが、FY28で年間700億円超の売上を見込んでおり、市況によっては前倒しの成長も期待できる。
No.10	Q.	FY28のSiC売上700億円の算出根拠について。
	A.	EVの市場の広がりや各OEMのシェアを予測し、現時点で採用が確定したものに限定して保守的に見積もっている。FY28のグラフに含めていない案件もあり、上振れできるように引き続き拡販及び開発を進めている。
No.11	Q.	FY26以降のSiC関連の設備投資の水準は。
	A.	説明会資料 P20「資本政策」に記載のとおり、全社の設備投資が年間500億円の水準となり、そのうちの多くがSiC関連となる見通し。設備投資圧縮の方針は半年前から変わっていない。